



川崎フロンターレSDGsへの私たちの取り組み

川崎フロンターレでは「スポーツで、人を、この街を、もっと笑顔に」というスローガンの下、川崎市やファン・サポーター、地域・パートナー企業等をはじめとした数多くのファミリーのみなさんと一緒に歴史を築いてきました。フロンターレはこれまでの活動、これからみなさんと歩いていく活動を「川崎フロンターレSDGs」と名付け、今まで以上にスポーツの力を通じて持続可能でよりよい世界が実現できるように活動していきます。



■献血啓発ポスター参加

献血啓発活動のポスターに選手が参加したり「噂のケンケツ SHOW」と銘打ったホームゲームイベントを開催するなど献血啓発を行っています。



■いっしょにおフロんた〜れ

住民同士の交流や公衆衛生の観点でも地域になくてはならない銭湯の魅力を発信しています。



■フロンターレ牧場

地元・川崎の牧場、養豚場、動物公園協力のもと、ヒツジの毛刈りや牛の乳しぼり体験、乗馬など動物に直接ふれられるイベントを実施することで、多様な生物との共生の大切さを体験してもらいます。



■川崎フロンターレ算数ドリル

川崎市内の各小学校に毎年配布され、算数を楽しみながら学べる「川崎フロンターレ算数ドリル」と、フロンターレの選手たちと一緒に身体を動かしてドリルの問題を一緒に解く「実践学習」を行っています。



■川崎フロンターレと本を読もう!

フロンターレの選手やマスコットを使用した、川崎市市内での読書を通じた豊かなまちづくりのための読書推奨キャンペーン事業「川崎フロンターレと本を読もう!」を実施しています。



■川崎市商店街新年挨拶回り

川崎フロンターレの選手が川崎市内の商店街の皆さんに新シーズンのご挨拶に伺います。商店街とプロサッカークラブが連携して、地域と地域住民のつながりの強化を目指しています。

『SDGsチャレンジ100小さな行動から大きく世界を変えよう!』

監修:一般社団法人 SDGs市民社会ネットワーク 借成社/出版 2023

SDGsに関わる実践ができるよう100のチャレンジが紹介されています。各チャレンジでは、なぜそのチャレンジが必要で、それによってどのような効果が期待できるのか、ていねいに書かれていますので、皆さんもSDGsについて学び、実際にチャレンジしてみてください!





川崎フロンターレ
SDGs

地域のパートナーさんと一緒に SDGs活動をご紹介します

川崎の地元企業を紹介

株式会社ヨネヤマは、川崎の地にて創業77年の食品包装資材フードウェアを販売する企業です。スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどで使われる食品トレーをはじめとしたフードウェアを企画・販売しています。昨今、海洋プラスチック問題や資源枯渇問題が叫ばれている中、ヨネヤマはSDGsにおける12個目の目標である「つくる責任、つかう責任」を達成すべく、「かわさきSDGsゴールドパートナー」の認証を取得しました。



株式会社ヨネヤマ
YONEYAMA



你好
Magandang araw
Hello 안녕하세요
xin chao こんにちは

ヨネヤマの本社unicoは、古いビルを壊すことなく残り、新たな創造的複合拠点をつくりだし、街の活性化を図ることを目的としたリノベーションを行っています。施設外壁面にツタを這わせ緑化することで温度上昇(ヒートアイランド現象)を緩和しています。同時に館内の温度上昇も抑制し夏場の空調などの節電を実現し、その他にも、ほんの少しのゴミを一つでも再生可能な素材にすることで環境配慮に取り組んでいます。

ヨネヤマと川崎フロンターレは、「今できることから始めよう」の気持ちから生まれた『our SDGs』を掲げ、より良い社会の実現に向けて挑戦を諦めることなく、これからも取り組んでいきます。

